



# BDT-2000

取扱説明書

このモデルはベルトドライブ方式採用のため、スクラッチプレイ等はできません。

**ベスタクス株式会社**

〒154-0011 東京都世田谷区上馬2-37-1  
電話 03-3412-7011 ファックス03-3412-7013  
Printed in JAPAN

---

## ごあいさつ

この度は、VESTAX BDT-2000をお買い上げいただきまして誠にありがとうございます。ご使用前に、本取扱説明書をよくお読み頂きますようお願い申し上げます。

## 特 長

- プロスペック高性能フォノイコライザー内蔵により、LINE入力のあるCDラジカセ、コンポステレオに接続して楽しめます。
- ターンテーブルの回転数を16rpm/mから98rpm/mまで、可変できることで、LP,EPからSPレコードまで全てのレコードに対応し、簡単なミックスも対応します。
- プロ機で実績を積んだスクラッチバランス型S字トーンアームは、高いトレース能力と、抜群の振動特性を誇ります。
- アルミニウムダイキャストのプラッターは、大きな慣性力のもと、静かでスムーズな回転を実現。
- プラスチックではない重量級金属ボディーは、不必要な箱鳴りを抑えます。

## 安全上のご注意

この「安全上のご注意」は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。「安全上のご注意」の内容をよくご理解下さいますようお願い致します。



### 警告

この表示を無視して誤った使い方をすると、人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容を示しています。



### 注意

この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

### 絵表示の例



電源プラグをコンセントから抜け

- 記号は行為を強制したり表示する内容を告げるものです。  
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け)が描かれています。



分解禁止

- ⊘ 記号は禁止の行為であることを告げるものです。  
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。



指を挟まれないよう注意

- △ 記号は注意を促す内容があることを告げるものです。  
図の中に具体的な表示内容(左図の場合は指をはさまれないよう(ご注意)が描かれています。

## 警告



電源プラグをコンセントから抜け

- 万一、煙が出ている、変なおいや音がするなど異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いて下さい。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください
- 万一、内部に水や異物などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。
- 万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、その後電源プラグをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



水槽での使用禁止

- 風呂場では使用しないでください。火災・感電の原因となります。

## 注意



電源プラグをコンセントから抜け

- お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。



- オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。又接続は指定のコードを使用してください。指定以外のコードを使用したりコードを延長したりすると発熱し、やけどの原因となることがあります。
- 電源を入れる際には音量を最小にしてください。突然大きな音がでて聴力傷害などの原因となることがあります。
- 5年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店などにご相談ください。機器の内部にほこりのたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気が多くなる梅雨期の前に行くと、より効果的です。なお、掃除費用については販売店などにご相談ください。
- ヘッドホンをご使用になるときは、音量を上げすぎないようにご注意ください。耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。



- 調理台や加湿器のそばなど湯煙が当たるような場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。
- 窓を閉めきった自動車の中や直射日光が当たる場所など異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。
- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。火災・感電の原因となることがあります。
- 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。
- 電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。

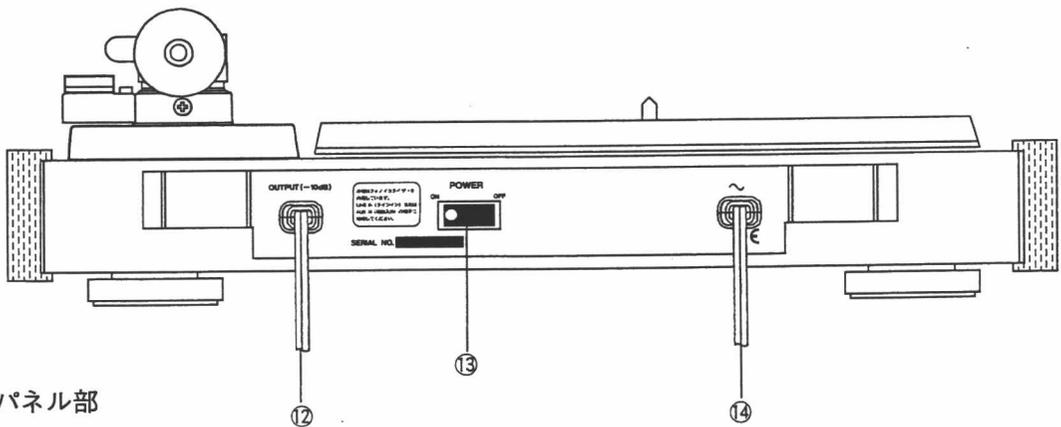
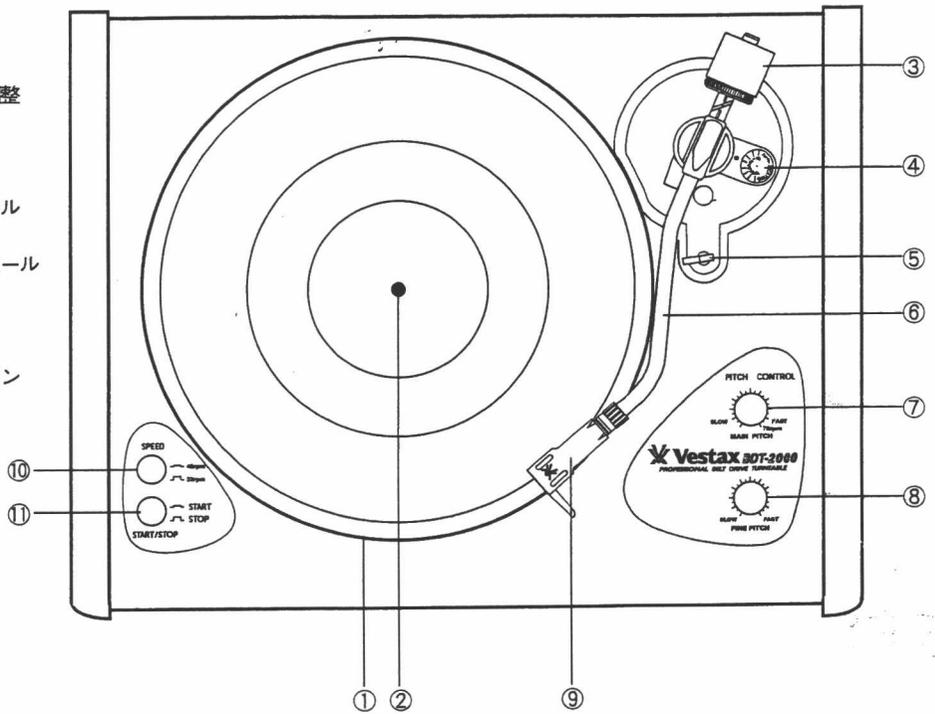
## 取扱い上のご注意

1. 針先やレコードに付着したほこりやごみは、よく取り除いてください。  
針先にはこりやごみがついたまま演奏しますと、針先がレコード音溝に正確に接触せず、音質が悪化するだけでなく、レコード盤や針先の損耗が早まります。  
トーンアームからシェルごと取はずし、柔らかい穂先のはけか毛筆などで根元から針先に向かって、ていねいに取り除いてください。  
また、レコード盤も良質のレコードクリーナーでよくふいてください。
2. シェル端子は時々ふいてください。  
シェルをトーンアームからはずしておきますと、シェル端子にはこりやごみがつき、接触不良を起こし、雑音が発生したり、ハムが大きくなったり、また、音が出なくなる場合がありますので、柔らかい布などで、シェル端子をふいてから、トーンアームに取りつけてください。
3. シェルを着脱する場合、アンプのボリュームを“0”にするか、アンプの電源を“OFF”にしてから行ってください。  
ボリュームをあげた状態でシェルの着脱を行いますと、不愉快な音がするだけでなく、スピーカをいためる場合があります。また、シェルを着脱する場合は、針先保護のため、針カバーをしてください。
4. ハウリングとハムについて  
ハウリングは、スピーカからの音や振動がプレーヤーに伝わり、それを再びカートリッジが拾い上げることによって生ずるものです。ボリュームを上げて、ウォーンというハウリングが発生するときは、スピーカと本体との位置関係をチェックし、音や振動が本機に伝わらないように対策してください。  
ハムノイズは、他の電源製品から出る電磁波によるものです。本機周辺の電器製品では特にアンプとの位置関係をチェックしてください。また、ハムやノイズはアースを正しくとらないと発生します。アース線をアンプ、ミキサーのGND端子にしっかり接続してあるかどうかチェックしてください。
5. 転宅などで、遠くへ運ばれるとき。  
購入時の包装材で、開梱のときと逆の方法で包装してください。包装材がないときでも、次のことは必ず行ってください。
  - ターンテーブルシートとターンテーブルを抜き取って、傷のつかないように包装します。
  - アームをアームレストに戻し、更にテープで結んで動かないようにしてください。
  - バランスウェイトやシェル/カートリッジは、アームから取りはずし、傷のつかないように包装してください。
  - 本体は、毛布や、柔らかい紙で、傷のつかないように包装してください。

## 各部の名称

### フロント部

- ① ターンテーブル
- ② センタースピンドル
- ③ バランスウェイト
- ④ アンチスキッピング調整  
ツマミ
- ⑤ アームレスト
- ⑥ トーンアーム
- ⑦ メインピッチコントロール  
ボリューム
- ⑧ ファインピッチコントロール  
ボリューム
- ⑨ ヘッドシェル
- ⑩ スピード切換ボタン
- ⑪ スタート/ストップボタン



### リアパネル部

- ⑫ フォノケーブル
- ⑬ パワースイッチ
- ⑭ 電源コード

## 箱から出したら

次の付属品がそろっているかどうか確認してください。

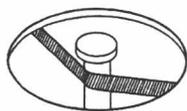
- ターンテーブル (ドライブベルト付き) × 1
- カートリッジ/ヘッドシェル × 1
- マット × 1
- EPアダプター × 1
- ダストカバー × 1
- ストロボスコープ × 1
- カウンターウェイト × 1

もし、付属品がそろっていないときは、お買上げ店に御連絡下さい。

**注意：再輸送のために梱包材は保管しておいてください。**

## 組立て方

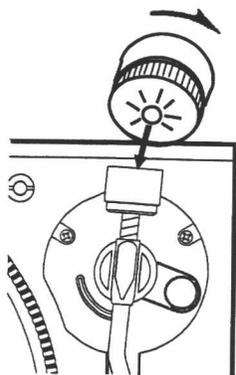
- ①ターンテーブルの中央には、センタースピンドルを通すための穴と、ベルトを掛けるための2つの穴があります。大きな穴の一方に指を入れ、ターンテーブル内側にかけられているドライブベルトに指をかけます。
- ②ターンテーブルをセンタースピンドルに合わせてはめ込みます。指を入れた穴から、モーターのプーリーにドライブベルトをかけます。



- ③ベルトとターンテーブル、プーリーがなじむように、手で2~3周、ターンテーブルを回します。

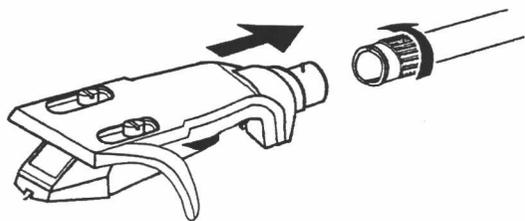
- ④ターンテーブルにマットを敷きます。

- ⑤トーンアームの後部にカウンターウェイトをスライドさせて差し込み、矢印の方向に3~4回して取り付けます。



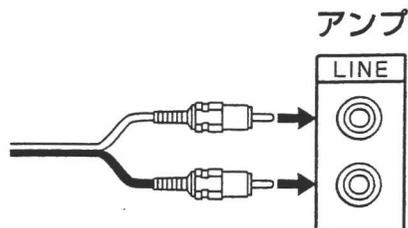
- ⑥トーンアームの前部にヘッドシェルを差し込み、ヘッドシェルが固定されるまで、ロックリングを矢印の方向に回します。

- ⑦キャビネットの背面にあるヒンジ受けに、ダストカバーを差し込みます。



## 接続のしかた

- ①出力ケーブルをお持ちのオーディオシステムのLINE IN (ラインイン) またはAUX IN (補助入力) の端子に接続して下さい。白(L)端子には白プラグを、赤(R)端子には赤プラグを接続します。接続の際はプラグを端子にしっかり差し込んでください。しっかり差し込まないと雑音の原因になります。

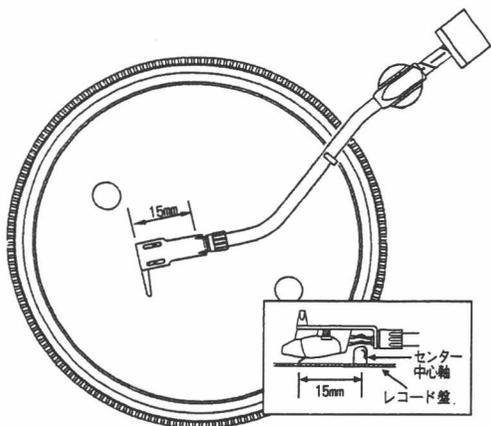


**注意：本機はフォノイコライザーを内蔵しておりますので、オーディオシステムのPHONO入力端子に接続する必要はありません。**

- ②電源コードをコンセントに接続します。

**注意：本機は交流(AC)電圧100Vでご使用いただくようになっております。200Vの電圧や直流(DC)電源には絶対接続しないでください。**

## 調整のしかた



### ● オーバーハングの調整

オーバーハングは、出荷前にあらかじめ調整されていますが、付属以外のカートリッジを使用し、調整の必要がある場合には下記の要領で行って下さい。

①カートリッジを取付けましたら、次にオーバーハングの調整をします。このオーバーハングが正しく調整されていないと再生音に歪みをきたしたり、針とびを起す原因となります。本機の標準オーバーハング値は15mmとなっています。定規等を使ってオーバーハングの調整をして下さい。

②カートリッジの取付けビスをドライバーでゆるめます。

③トーンアームをセンタースピンドル上に移動させて下さい。

④針先とセンタースピンドルの間隔が15mmになるようにカートリッジを前後に動かします。

注意：カートリッジを前後に動かす際、針先が指やターンテーブルに触れて破損することのないよう、慎重に行ってください。

⑤オーバーハングが正しく調整できましたら、トーンアームをアームレストに戻し、カートリッジの取付けビスを締めて固定します。

## 針圧調整のしかた

### ● 水平(ゼロ)バランス調整

①針先にふれないように注意して、針カバーをはずし、トーンアームをアームレストから離してフリーの状態にします。

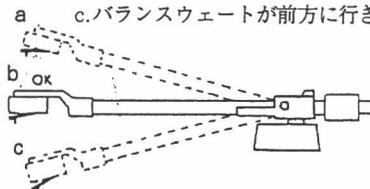
②バランスウェートを廻しながらトーンアームが水平になるように調整します。

#### 調整例

a. バランスウェートが後方に行き過ぎています。

b. バランスウェートとカートリッジのバランスがとれた状態です。トーンアームが水平になります。

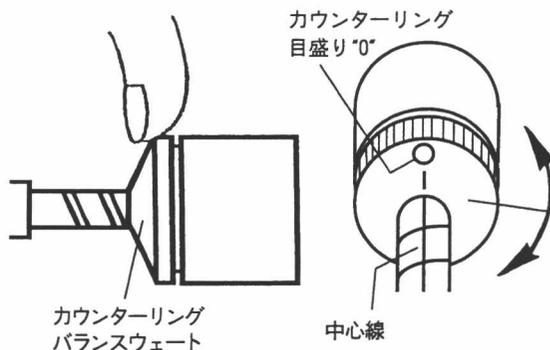
c. バランスウェートが前方に行き過ぎています。



③水平バランスを調整した後トーンアームをアームレストに戻します。

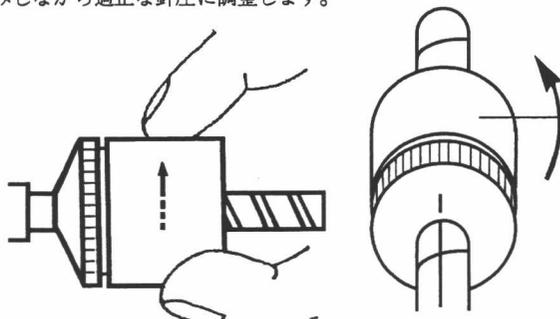
注意：水平バランス調整するとき、カートリッジの針先がターンテーブルや本体に触れないようにして下さい。

④水平バランス調整後バランスウェートを動かさないように指で支え、カウンターリングだけを廻し、アーム軸の中心線にカウンターリングの目盛"0"を合わせます。



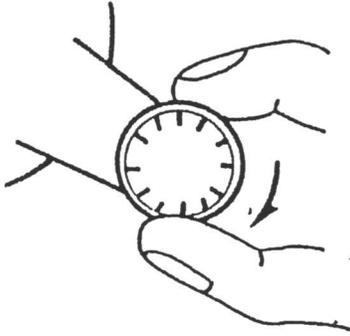
注意：バランスウェートが動いてしまった場合は、もう一度水平バランス調整からやり直して下さい。

⑤バランスウェートをの矢印方向に廻してカートリッジ指の針圧に合わせます。バランスウェートを廻しますとカウンターリングも一緒に動きますから、カウンターリングを直読みしながら適正な針圧に調整します。



## ● アンチスケーティングの調整

- ①アンチスケーティングのつまみを、針圧と同じ値にします。
- ②正しい針圧調整、アンチスケーティング調整は、歪みのない再生音を得るため、また、針やレコードを長持ちさせるうえでも欠かせない重要なポイントです。



## プレーヤーの設置場所について

- ①外部振動を受けない、しっかりした水平な場所に設置してください。
- ②スピーカシステムからできるだけ離して設置してください。
- ③直射日光、ほこり、湿気などの多い場所や、暖房器具の近くは避けてください。
- ④通風の良い場所を選んでください。
- ⑤ラジオ(FM/AM)を極端に近づけますと、ラジオに雑音が入る場合がありますので、できるだけ本機より離してください。

### ステレオを聞くときのエチケット

ステレオで音楽を楽しむときは、隣近所に迷惑がからないような音量でお聞きましょう。特に、夜は小さな音でも周囲にはよく通るものです。窓を閉めたり、ヘッドホンをご使用になるなどお互いに関心を配り、快適な生活環境を守りましょう。このマークは音のエチケットのシンボルマークです。



## レコードの演奏のしかた

- ①プレイヤー後部にあるパワースイッチをONにします
- ②ターンテーブルにレコードをのせます。17cmのEPレコードを演奏する際は、付属のEPアダプターをセンタースピンドルにはめてください。
- ③カートリッジのカバーを取り外します。
- ④メインピッチ、ファインピッチのコントロールボリュームをセンターに合わせ、スピード切替ボタンを押して回転速度を選択します。(押し45rpm、再度押し33rpm)。
- ⑤スタート/ストップボタンを押します。ターンテーブルが回転し始めます。
- ⑥トーンアームをレコード盤上に移動し静かに下降させてください。演奏が始まります。
- ⑦演奏が終了したら、トーンアームをレコード盤面から持ち上げ、アームレストに戻します。

注意：針先の破損を防ぐため、しばらく演奏しないときにはカートリッジにカバーを取り付けて下さい。

- ⑧スタート/ストップボタンを押します。ターンテーブルが停止します。
- ⑨パワースイッチをOFFにして電源を切ります。

## ピッチの調整のしかた

- ①ターンテーブルの回転速度はピッチコントロールボリュームで調整することができます。FAST側に回すと、ターンテーブルの速度が速くなります。SLOW側に動かすと、ターンテーブルの速度が遅くなります。MAIN PITCHは可変範囲が広く、FINE PITCHは可変範囲が狭くなっています。

- 33rpmのとき  
MAIN PITCH.....約16rpmから78rpmまで可変します。  
FINE PITCH..... 約24rpmから41rpmまで可変します。

- 45rpmのとき  
MAIN PITCH.....約16rpmから98rpmまで可変します。  
FINE PITCH..... 約40rpmから51rpmまで可変します。

## SP盤のレコードを演奏するには

- ①SP盤のレコードをターンテーブルにのせます。
- ②付属のストロボスコープをレコード盤の中心に置きます。
- ③スピード切換ボタンで33rpmに設定します。
- ④MAIN PITCHのボリュームをFAST側に回しきり、最大にします。
- ⑤ストロボスコープの78rpmのドットがつながって見えるようにFINE PITCHのボリュームで調整しますと、正確に78rpmの回転数に設定されます。
- ⑥設定が終了したら通常に演奏を開始してください。

SP盤のレコードをより忠実に演奏させるため、専用のカートリッジを用意しております。

カートリッジ：VR-7P (Vestax)

交換針：VR-7PP (Vestax)

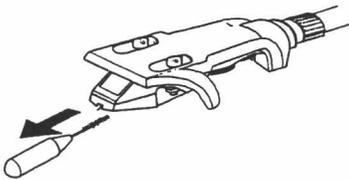
オーダーメイドとなっておりますので、ご購入店へご相談ください。

## お手入れ

### ● 針先とレコードのお手入れのしかた

針先やレコードの消耗を防ぐため、演奏する前に必ず針先とレコードのホコリを取り除いてください。

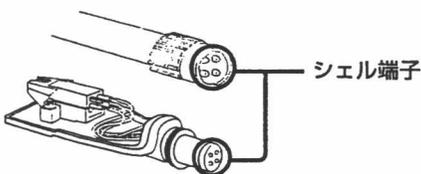
針先のホコリを取るには、レコード針専用のクリーニングブラシで、針の後方から前方に向かってブラシを動かします。液体のレコード針専用のクリーナーを使用する場合は、針先を濡らしすぎないようにご注意ください。



レコードをふくときは、レコード専用クリーナーを使って全体をふきます。

### ● シェル端子のお手入れのしかた

音質が低下したり、ノイズやハム音が気になるようになったら、シェル端子にホコリや塵がたまつたため、接触不良を起こしている可能性があります。シェルをトーンアームから取外し、柔らかい布で端子を軽くふいてから、もう一度シェルをトーンアームに取り付けてください。



### ● キャビネットとダストカバーのお手入れのしかた

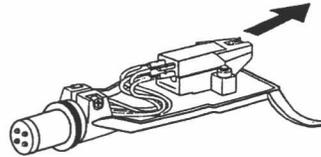
キャビネットとダストカバーの汚れは、柔らかい乾いた布でふいてください。汚れが落ちにくい場合は、中性洗剤を少し含ませた柔らかい布でふいてください。シンナーやベンジン、アルコールなどは表面を傷めますので使わないでください。

### ● 針先を交換するには

針先の平均寿命は約500時間です。最高の音質を保ち、レコードの損傷を避けるには、この時間以内に針先を交換することをおすすめします。

### ● 針先の交換のしかた

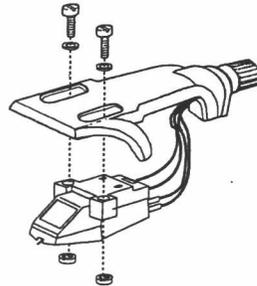
- ①プレーヤーとアンプの電源を切る。
- ②ロックリングをまわしてカートリッジをトーンアームから取り外す。
- ③針先ホルダーを持ってカートリッジ本体から引き抜く。
- ④新しい針先をカートリッジのソケットに差し込む。



### ● カートリッジを交換するには

カートリッジの交換が必要な場合は、ヘッドシェルをトーンアームから取り外してから下記の手順を行ってください。

- ①カートリッジとヘッドシェルを止めているネジを取り外す。
- ②カートリッジから4本のリード線を外す。  
このとき、小型のペンチ等で、リード線端子を引っ張って外してください。  
カートリッジがヘッドシェルから完全に離れます。



- ③新品のカートリッジの各端子ピンの位置と極性を確認し、リード線を正しく接続する。付属のヘッドシェルのリード線端子の極性は、以下の通りです。

赤：右チャンネル  
白：左チャンネル  
緑：右チャンネル、アース  
青：左チャンネル、アース

極性を間違えないようにご注意ください。

## 故障かな？と思ったら

本機の調子がおかしいとき、修理に出す前にもう一度点検してください。それでも正常に作動しないときは、お買い上げ店にお問い合わせください。

### ● トーンアームが飛んだりスケーティングしたりする、または前進しない

→ターンテーブルが水平になっていないので、プレーヤーを水平に置く

→針圧が正しくないので、使用しているカートリッジに合った針圧に調整する。

→アンチスケーティングの調整が合っていないので、ANTI-SKATINGダイヤルが針圧リングの指示している値と同じ値になっているか確認する。

→レコードが汚れているか傷ついているので、市販のレコード専用クリーニングキットでレコードをふくか、または他のレコードと交換する。

### ● 正常な音質が得られない

→トーンアームのロックリングを点検し、ヘッドシェルがトーンアームに確実に取り付けられているか確認する。

→針圧が正しくないので、使用しているカートリッジに合った針圧にする。

→針先が汚れているか消耗しているので、レコード針専用のクリーニングブラシで針先のホコリを取り除くか、または消耗した針先を交換する。

→レコードにホコリや塵が付いているので、レコード専用クリーナーでレコードをふく。

→ヘッドシェル内のカートリッジリード線がしっかり接続されているか確認する

### ● ランブルノイズや低周波ハウリングが起こる

→プレーヤーの位置がスピーカーに近すぎるので、スピーカーをプレーヤーから離す。

この現象は「音響フィードバック」と呼ばれています。スピーカーの振動が空気や固体(棚、キャビネット、床等)を通してプレーヤーに伝わり、針先に拾われ、増幅され、スピーカーから再生された場合に生じます。

### ● 演奏スピードが正しくない

→回転数が誤っているので、レコードに記載されている回転数に合わせる。

(33 $\frac{1}{3}$  r/minのレコードでは、33を、45 r/minのレコードでは45を選択してください。)

→各PITCH CONTROLボリュームをセンターに合わせる。

### ● ドライブベルトが劣化している

→ドライブベルトを交換してください。  
ドライブベルトについては、お買い上げ店にお問い合わせください。

### ● ターンテーブルが回転しない

→電源コードが壁のコンセントにしっかり接続されているか確認する。

→ドライブベルトがモータープーリーに完全に掛かっているか確認する。

### ● ドライブベルトが切れている

→ドライブベルトを交換してください。  
ドライブベルトについては、お買い上げ店にお問い合わせください。

### ● 音が大きすぎる、または歪んでいる

→プレーヤーをアンプのLINE 又は AUX入力端子に接続する

## アフターサービス

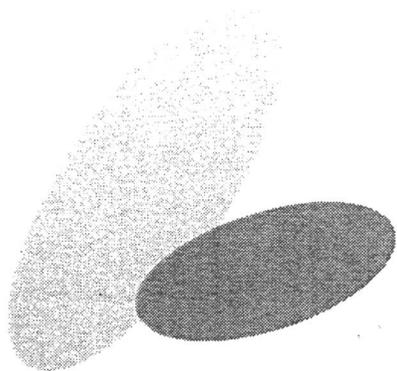
①本機には保証書を添付してあります。所定事項を記入してお渡しいたしますので、記載内容をご確認のうえ、大切に保管して下さい。

②保証期間中は、保証書の記載内容により、弊社サービス機関が修理いたします。

③保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについてご不明の場合は、お買上げの販売店、または弊社サービスにご相談下さい。保証期間 経過後、修理によって機能が維持できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

## 主 な 仕 様

ターンテーブル部	
駆動モーター	DCサーボモーター
駆動方式	ベルトドライブ
回転数	33-1/3、45r.p.m.
ワウフラッター	0.03%
SN比	60dB(ICE-B) 70dB(DIN-B)
ターンテーブル トーンアーム部	アルミニウムダイカスト(310径、1.5kg)
型式	スタティックバランス型S字トーンアーム、 オイルダンプ式トーンアームリフター、 直読式針圧ゲージ付カウンターウェイト、 アンチスケーティング装置付属
オーバーハング	16mm
トラッキングエラー	+2.35° ~ -1.3°
適合カートリッジ重量	3g ~ 9g
針圧調整範囲	0.5 ~ 3g
カートリッジ部	
型 名	VR-3E (デュアルマグネット)
周波数特性	15~20,000Hz
感度	3mV
チャンネルバランス	2dB
チャンネルセパレーション	20dB
針圧印加	1.0 ~ 2.0g
トラッキングアングル	23°
負荷抵抗	47Kohm
交換針	VR-3EE
重量	7grm
総合	
電源電圧	AC100V、50/60Hz
消費電力	5W
外形寸法	473(W)×137(H)×372(D)



**Vestax Corporation**

---